

令和5年12月21日付【水道産業新聞】
 「新時代下水道」実現を
 <水コン協 官民連携など国交省に提案書>

「新時代下水道」実現を

水コン協 官民連携など国交省に提案書



松原部長に提言書を渡す岡山会長

全国上下水道コンサル
 タント協会は13日、国土
 交通省下水道部に対し、
 来年度の下水道事業予算
 の確保と課題解決に向け

た施策・支援の推進に関
 する提案書を提出した。
 岡山一典会長（日本コ
 ン社長）は、「これから
 の上下水道サービスの担

い手として
 の挑戦」を
 スローガン
 に、協会の
 ビジョンを
 策定してか
 ら約10年を
 経て、社会
 の変わり目
 となる新し
 い時代を迎
 えた今、こ
 れまでの10
 年がマイン

ドセットだとすれば、こ
 れからの10年は、ビジョ
 ンに掲げた使命を具現
 化・具体化、実体化に移
 す時だと考える。限られ
 た時間ではあるが、コン
 サルタントに対する期待
 や叱咤激励をいただき、
 次期ビジョンにも反映し
 ていきたい」と話した。

松原誠・国交省下水
 道部長は、「水道行政の
 移管を控えた変革期に
 あって、『下水道の持続
 と進化』に向けた積極的
 なチャレンジが必要であ
 り、下水道に対する期
 待、また、コンサルタン
 トの皆さんに対する期待

は非常に大きいと感じて
 いる。最上流において事
 業の方向付けをしていた
 だけでなく、また、地域ご
 とに異なる課題を抱え、
 多様化するニーズに対し
 て、設計段階でいかに工
 夫ができるかということ
 が非常に重要であり、こ
 うした問題意識ととも
 に、『上下水道』に携わ
 る皆さんに、水道のお話
 も伺いたい」と応じた。

提案項目としては、下
 水道事業継続のための予
 算確保、激化する災害
 に対する強い下水道の構
 築・推進、「新時代下水
 道」実現の推進を挙げた。

具体的には、多くの自
 治体で課題となっている
 施設の老朽化や財源不
 足・人材不足に対し、広
 域化・共同化、官民連携
 などのスキームづくりを
 加速させるための施策の
 必要性の発信と、着実な
 事業執行を要望した。

災害対策では、特に内
 水氾濫のリスクに備える
 ためのハード・ソフト対
 策と、民間企業も含めた
 あらゆる関係者の連携に
 よる流域治水の推進に向
 けた補助制度などの支
 援、地震・津波対策の強
 化を求めた。

向けた施策としては、下
 水汚泥資源の肥料利用を
 促進するため、重金属の
 含有リスクや散布・施肥
 方法に関するノウハウ不
 足を解消し、流通経路を
 確保する必要があるとし
 た。また、官民連携の
 新たなスキームである
 ウォーターPFDをはじめ
 め、多様な形態による官
 民連携を推進する上で、
 コンサルタントが役割を
 担う「事業全体を俯瞰し
 た計画立案」など、中長
 期の視点を含めた事業マ
 ネジメントへの配慮が必
 要だとした。

新時代下水道の実現に